

# デーリー東北

## 2021年(令和3年)12月23日(木曜日) (2)

### 田名部組(八戸)と八工大がプロジェクト

#### 人材育成の拠点 番町地区に設置

来年4月  
オープン



締結書にサインした坂本禎智学長(左)と田名部智之代表=22日、八戸パークホテル

八戸市の建設業・田名部組(田名部智之代表)と八戸工業大(坂本禎智学長)が22日、産学連携の「はちのへ『まち』プロジェクト」の立ち上げを発表した。同社が同市番町に所有する協栄八戸番町ビル1階に同大の(仮称)番町サテライトオフィスを設置。両者が連携して人材育成などに取り組むための拠点とするほか、再開発が進む八日町・番町エリアのにぎわい創出につなげたい考えだ。

地域貢献活動を展開する両者が先月、同ビル1階のテナント撤退を機に、プロジェクトを本格始動させた。オフィスは約285平方メートルで、内装デザインは同大感性デザイン学部が担当。あずさ助教と同学部の学生

5人が担当する。来年4月にオープン予定。

同日は八戸パークホテルで基本協定締結式が行われ、田名部代表と坂本学長が協定書にサイン。田名部代表は「番町地区の整備が進み、民間が何かできないかと模索する中で実現した。学生が街を闊歩する環境が、街のにぎわいには不可欠だ」とオフィス設置の意義を強調。坂本学長は「中心街の発展に加え、地域の産業振興、人材育成に努めて地域のために貢献していきたい」と展望を述べた。

完成後は、一般向け市民講座を開催するほか、学生や生徒向けの学びのスペースなどとして活用する方針。

(金濱千穂希)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。